

## 中高一貫校に関する検討協議会（第3回）報告

日 時 平成26年4月24日（木）10:00～12:00  
場 所 県庁本庁舎2階 第一特別委員会室  
出席者 委員16名

◎ 事務局より、「教育内容について」「高大連携について」「平成27年度の入学者選抜方法について」「今後の日程について」について説明がなされ、委員からは次のような意見等があった。

### < 教育内容について >

- アクティブラーニングについて、極力導入したいという意図は伝わった。教育課程は前回から大きく改善された。
- 学校と地域が相互に関わるような仕組み、外部人材を積極的に活用できるような仕組み作りが必要である。
- 各系列間の往来に対しては、柔軟に対応できるような教育課程を編成してほしい。
- 入学を希望する生徒、保護者が学校に何を求めているのか意見を集約できるような場を設けてほしい。

### < 高大連携について >

- 出前授業の実施にあたっては、そこでの内容を普通の授業に反映していくような仕組みを作ってはじめて「連携」といえる。
- 中高一貫校の教育課程を大学と共有し、どんな授業で連携できるかお互いに検討する必要がある。各系列に対応する具体的な計画を作っていければ、非常に効果が上がるものになる。
- 県内の数多くの大学から、連携の前向きな申し出をいただけたことはよかった。

### < 平成27年度の入学者選抜方法について >

- 生徒募集にあたっては、ホームページなどを通して積極的に情報発信すべきである。
- I期選抜・連携型選抜を通して、新高校で学びたいという意欲・意識の明確な生徒の入学に向けて弾力的に対応して欲しい。

### < 今後の日程について >

- 進学を勧めてもらう立場である中学校の先生に対して、早めに具体的な方向性を示していくべきである。

### < その他 >

- 子どもたちの意欲的な学び、動機づけのためにも、できるだけ早く「6年間」を目指した一つのモデルを示して欲しい。